

2022年10月25日

各 位

会 社 名 株式会社 サトー商会
代表者名 代表取締役社長 古山 眞佐夫
(コード：9996、東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 藤原 督大
(Tel.022-236-5600)

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,800 ～19,600	370	420	280	33.57
今回予想値(B)	20,765	648	731	498	59.82
増減額(B-A)	1,165 ～1,965	278	311	218	
増減率(%)	5.9 ～10.5	75.2	74.2	78.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	18,518	305	402	268	29.99

2. 修正の理由

売上高については、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い先行きの不透明感を加味し保守的に見積もっておりましたが、行動制限の緩和により、帰省や旅行に伴い人流も徐々に回復傾向がみられ、特に卸売業部門の外食業種などが好調に推移し、前期実績を上回るものと予想しております。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても、売上高の増加による利益増加と全社的な経費抑制等により前回公表した予想数値を上回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、一部人件費や修繕費等経費の上期から下期への月ずれがあり、下期は経費が増加し計画通りの計上を見込んでおります。また、エネルギー価格の高騰による管理費の増加、世界的な食品原材料の高騰や不足の発生に加え、円安が進行している影響を受け製造・輸送コストの上昇も続いており販売価格転嫁など先行き不透明な状況であることから予測が困難であるため、下期の業績予想を据置きました。

今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示してまいります。

以 上